

令和2年度第3回県連盟内コミッショナー会議

日時:令和2年7月11日(土) 13:30~17:00 大府市大府公民館にて

1. 県連副コミッショナー

新任として、穂の国地区 中出 さんに委嘱された。
県連TTディレクターを兼務する。

2. 県連盟コミッショナーより

(1) 全国コミッショナー会議の報告

On Line で開催された。

・コロナウィルス

第10報が出て、ガイドラインが新たにされた。

宿泊を伴うプログラム:日本連盟コミッショナー名で実施しても構わない旨の発信がされた。

愛知連盟としては、日本連盟の方針に基づくこととする、との県コミの発議だった。

ただし、地域の状況を把握して行う。「…いけない」ではなく自団(自分たち)の地域だけでなく、行く先の地域の状況も把握する。十分な対応・措置を講じること。

新たなチェックシート等も活用する。

夏休みも2週間に短縮され、また準備と対策・対応を今からで取り組むとなると

今年の8月には実質無理ではないか?

地区(同市内)の他の団・隊との連携をとるようにする。

情報の共有化、対策等を連携する。

保護者とのコミュニケーションをしっかり図る。保護者とも情報の共有化を深める。

各種保険は、コロナウィルスは対象から外れているので、補償等がない。

団や隊の活動の責任者は団委員長であることを改めて承知を求める。

SNSへの投稿は十分に気をつける。スカウトの活発な活動ゆえに密になった写真を

投稿・アップしないように十分注意する。密の状態での写真がアップされている

事例がある。

・2020事業計画

SDGsについて、日本連盟のホームページからダウンロードして読むようにする。

活動方針 ・現場主義

・団審査の継続敵支援は本年度も全国調査を行う。次年度に向けた登録審査でも活用しよう。

・ラウンドテーブルの活性化を進める。連絡会のままになっている地区が多い。テーマを定めた研究集会・研修会の場である。

・ローバースカウトへの支援を進める。

・保護者とのコミュニケーションを深める。

社会連携広報

書き損じ葉書を集めて欲しい。支援に役立てる。

プログラム委員会

進歩に関する特別措置は、スカウトができない(取り組めない)ので延長を認めている。

できる部分でもっと迅速に(手を抜くのではなく)申請をしてほしい。

文科省委託事業

子供への自然体験推進事業に日本連盟として手を挙げた。

これから何か取組があるかもしれない。

(2) 県連年次総会

第3回東海キャンポリー

来年度も実施は難しい。7月19日に3TC実行委員会が予定されているので、その中で決議される。

指導者養成

団委員実修所・ウッドクラフトコースはいずれも中止する。

セーフ・フロム・ハーム

10月18日に研修を予定している。団委員長で未修了者は受講するように勧める。

防災士

11月15日に研修を予定している。

セーフ・フロム・ハームと防災士の研修はこの時期でしかできない?

SDGs

9月8日 18:30~20:00 ウィル愛知で予定している。

(3) 指導者養成

団委員研修所

これまでの吉川野営場や新東工業では開催できない。

コミッショナー研修所

静岡県連で開催を予定している。昨年度までの旧課程で開催を予定。

(4) その他

人材の募集

50歳までで、手旗・モールスのできる人を募集

ボーイスカウト部門・ベンチャースカウト部門

コロナウィルス対策に、スカウト以上に指導者が引っ込んでいる。

十分な配慮をして活動をしてほしい。

ローバースカウト部門

RCJでローバースの活動目標など議論された。